

ポピュリズムの世紀なのか —現代政治の変容を読み解く

ポピュリズムは「大衆迎合主義」とも訳され、民主主義の脅威と見られがちですが果たしてそうなのでしょうか。アメリカ人民党が語源となるポピュリズムは、「人民（民衆）」に依拠してエリートを批判し、人民の意志を直接政治に反映させることを主張する急進的な改革運動とされ、ここ数年では2016年のイギリス国民投票によるEU離脱派勝利、トランプのアメリカ大統領選挙の勝利、2017年のフランス大統領選挙におけるルペンの決選投票進出など、各国でポピュリズムとよばれる政治の動きが強まっています。また日本でも、2017年総選挙では既成政党と距離を置く複数の新党が議席を獲得し、政治地図が大きく変化しました。

本講座では、「中抜き政治の出現」という観点を用いつつ、21世紀型社会における既成メディアの役割に注目しながら現代政治の変容について、『ポピュリズムとは何か—民主主義の敵か、改革の希望か』で2017年度第38回「石橋湛山賞」を受賞した水島治郎氏が解説します。

講師 水島 治郎（千葉大学法政経学部教授）

1967年東京都生まれ。東京大学教養学部卒業、99年、東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。甲南大学助教授、千葉大学法経学部教授などを経て、現在、千葉大学法政経学部教授。専攻はオランダ政治史、ヨーロッパ政治史、比較政治。著書に『戦後オランダの政治構造』（東京大学出版会、2001年）、『反転する福祉国家』（岩波書店、2012年、第15回損保ジャパン記念財団賞受賞）、『保守の比較政治学』（編、岩波書店、2016年）、『ポピュリズムとは何か—民主主義の敵か、改革の希望か』（中央公論新社、2016年、2017年度第38回「石橋湛山賞」（石橋湛山記念財団主宰、東洋経済新報社、経済倶楽部後援）を受賞。）など。



開催概要

- 日時：2018年2月28日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341